

# 相生デイサービス新聞

発行所  
相生DS  
44-4165



余寒 去りやらぬ

立春とはいいいながら今日も冷たい風が吹いています。それでも近づく春を感じます。

庭の木のつぼみであったり、シヨウワイントの明るい洋服の色からも。

川瀬巴水  
版画・平泉金色堂  
昭和32年作



ご存知ですか



かき

今が旬!

「海のミルク」の別名でも知られる栄養の宝庫。必須アミノ酸を含むたんぱく質、カルシウム、カリウム、ビタミンA、B1、B2、グリコーゲンなど豊富です。

## 季節の風物詩



( ? )

幻想的な美しさ。秋田県横手約400年の歴史。



( ? )

何してるのかな 答えはコレ



福寿草 寒ぼたん



俳句  
ためらへば焼薯の声遠ざかる  
酔覚めの五臓六腑に寒の水  
昼の月牙ゆひとひらの雲に似て  
和泉精治

## 今月の予定

- 3月 節分おたのしみ会
- 5月(水) ぶさこいポパイ
- 6月(木) 傾聴ボランティア
- 17月(月) 習字
- 20月(木) 藤美会
- 21月(金) 音楽(小林様)

床屋さん

- 3月 12(木) 20(木) 28(金)



ユモアくらぶ  
男が女に恋をした。  
「こ水を、どうぞ受け取って」  
「チユリッポの...」  
「えっ。」  
チユリッポの...  
あ、球根(求婚)

天声珍語  
東京は深川。その店は門前の一画にあった。お水んをくぐると煮付けた正油の匂いがした。腹の虫が鳴いた。今日はわざわざここに深川林を食べにきたのだ。具は、あさり、に長ネギ、油あげ、など。気のきいた板前さんも含めて、いかにも「下町の味」といったものだった。食べ終えて、飲み終えて、店から出ると春の日ざしが、不動尊を、やわらかく包んでいた。  
ススム